

豊富な再生可能エネルギーを、私たちの暮らしの中で役立てるため

本市の再生可能エネルギー電力自給率
300%超

鹿角市エネルギービジョン

を策定しました 問 産業活力課 産業戦略班 ☎ 30-0250

東日本大震災以降、太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーが急拡大したほか、電気小売の全面自由化など、エネルギーを取り巻く状況はさまざまな変革が進んでいます。また、地球温暖化の進行により、これまでに経験したことがない異常気象が世界的に多発しており、化石燃料からの転換は世界の潮流となっています。

一方、原油や天然ガスの価格高騰に伴い、生活に欠かせないガソリンや灯油、電気の価格は上昇傾向にあります。本市は電力自給率300%を超える再エネ資源が豊富な地域であり、鹿角市産の再エネを活用することで、災害時の影響や燃料価格の上昇が小さくなるだけでなく、再エネの利用に伴う新たな産業・サービスの創出が期待できるとともに、二酸化炭素排出量も削減されます。

豊富な再エネ資源を自分たちの暮らしに役立て、地域活性化につなげるため、本市のエネルギー利用の将来像を描く「鹿角市エネルギービジョン」を策定しました。

「鹿角市エネルギービジョン」は市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



ホームページ
ホームページ

目指す将来像

脱炭素社会の推進と地域経済の循環・成長により、豊かさと希望を体現し続ける、エネルギー自立都市

地域の再エネにアクセスしやすい環境を整えることで、地域の再エネへの転換を図り、物理的にも経済的にも外部からの影響を受けないエネルギー生産流通体制を構築します。

エネルギーが内需と外貨を生み出す産業となり、すべての世代が豊かさを感じ、将来に希望を持つことができるまちを目指します。

将来像の実現に向けた5つの基本方針

基本方針①

※カーボンニュートラルに向けた意識を醸成

脱炭素と経済成長の両立を促します

①カーボンニュートラル推進機運創出プロジェクト

- ・地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定
- ・「CO2 排出量の見える化」の推進
- ・普及啓発講座の開催

※カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。（2020年10月に政府は、2050年までにカーボンニュートラルを目指す宣言をしています）

取り組み促進

基本方針②

※カーボンニュートラル推進基盤を構築

再エネ電気を供給し、豊富な再エネ価値を体現化します

- ①かづのパワーとの連携プロジェクト
- ・成長に見合った連携の実施
- ②再エネ電気の利用促進プロジェクト
- ・再エネ電気利用の推進



株式会社かづのパワー
Kazuno Power Co., Ltd.

地産再エネの活用とカーボンニュートラル推進のプラットフォーム

2019年に設立した、電力資金を域内循環させる地域電力小売会社「かづのパワー」

基本方針③

再エネの導入を促進

市全域で発電に取り組み、地域の電気を直接使います

- ①再エネ導入推進プロジェクト
- ・再エネ導入目標の設定
- ・公共施設への再エネ設備の導入
- ②EV導入等推進プロジェクト
- ・EVステーションの充実
- ・EVからの外部給電設備の充実
- ・大型車両などの水素化の検討
- ③熱の脱炭素化プロジェクト
- ・木質バイオマス熱利用の推進
- ・電化の推進

基本方針④

エネルギー利用の効率化と多様化を推進

省エネと災害時の使用可能な体制を作ります

- ①省エネルギー推進プロジェクト
- ・省エネ診断の推進
- ・省エネ設備への更新
- ②効率的なエネルギー利用推進プロジェクト
- ・*ピークシフトの推進
- ・かづのパワーと連携した*デマンドレスポンスなどの実施
- ③エネルギー自立モデルの構築プロジェクト
- ・個人・集落・市レベルによる自立モデルの推進

※ピークシフト
電力の消費量が多い昼間から、少ない夜間へシフトさせることにより、電力消費量の平準化を図ること。

※デマンドレスポンス
電力会社から需要家に電力消費量を抑制するよう促すことで、それに対する対価を需要家がもらうことができる仕組み。

再エネの利用を支える

基本方針⑤

エネルギー産業を育成

先端技術の導入と再エネ産業の内製化を進めます

①エネルギー新産業育成プロジェクト

②再エネ関連業務の地域内製化推進プロジェクト

・再エネ水素の利活用

・地元企業による再エネ関連業務の受注促進